

# 長瀬町 議会だより

No.3  
平成29年  
9月定例会  
11月1日発行



決算認定など可決 P.2

一般会計補正予算  
概要・主な質疑 P.3

条例の制定  
概要・主な質疑・討論 P.3

請願・陳情・意見書 P.3

議案と議員の賛否 P.3

町政を問う 一般質問 P.4

編集後記 P.6

長瀬町ってこんなところ

「シンボルマーク」  
を紹介します



はつらつ 長瀬

町名のカタカナ表記の頭文字「ナ」に、人も社会も自然も全てがはつらつとしているイメージを加えて図案化されたものです。



今号の表紙

長瀬町には貴重な文化財が点在しています。町の文化財に目を向けていただくため、ご紹介します。

## 遍照寺「えんのぎょうじゃぞう役行者像」

野上下郷地内(社区)にある遍照寺内には、室町時代の作と伝わる町指定有形文化財の役行者等身大立像がある。この像はやや粗削りではあるが、保存状態は良好である。口の中に小さな巻物があるが出せない。寺の伝えによると、像が付近の山野田畑を歩き回るので両足首を切断されているという。この仏像をさわることにより足腰が丈夫になるとされ、今でも身体強健祈願の信者が多い。

# 平成28年度 決算認定など14議案を可決

9月13日(水)、14日(木)に、平成29年第4回長瀬町議会定例会が開催されました。

今回の定例会では、決算認定など町長提出議案14件が審議され、原案のとおり可決しました。このほか請願1件、陳情1件、発議1件がありました。また、9名の議員が町政に対する一般質問を行いました。

## 平成28年度 決算



幹線1号線道路改良工事  
4,088万5,560円



長瀬アルプス観光トイレ建築工事  
1,303万9,920円

### 主な質疑

**Q**町税の収入未済額が増加している要因は。

**A**固定資産税では1件大口の滞納が発生しており、その影響から1,000万円程度増えました。

**Q**地方交付税が予算より大幅に増額になっている理由は。

**A**地方交付税の額の決定は夏ごろになり、低めに計上しています。国の客観的な数字で決まるので、毎年同じように10億5,000万円を計上しています。

**Q**旧新井家住宅資料館の観覧者が増えない理由と、改善する手段は。

**A**開館日・休館日の見直しをはじめ、文化財保護審議委員会で検討の結果、資料館の展示替えや展示スペースの改修等を行います。

**Q**不用額が多い理由は。

**A**一般的に実質収支額は標準財政規模の3%~5%が適当と言われており、長瀬町は4.61%なのでおおむね適正の範囲です。

**Q**町税の安定的確保が厳しいと思うが。

**A**個人住民税の徴収対策を強化するため、地方税法第48条による直接徴収3件を秩父県税事務所にお願ひし、県税事務所職員の短期派遣をしていただき、町税の滞納整理を行います。

### 反対討論

**▼関口 雅敬**…大事な税金の使用方法や事業の内容に納得できない。町は依然として財政の硬直化から抜け出せていない今、事業をチェックした結果、認定はできない。

**▼村田 徹也**…年度当初の方針で、「事務事業の見直し、積極的な財源確保・維持管理コストの削減による財政健全化を目指す」としていたが、それが実現されていない。

### 賛成討論

**▼岩田 務**…監査報告でもあったが、28年度の町長施政方針に基づいた予算が執行され、若者の定住促進や福祉関係、その他の施策でもおおむね成果が出ている。

## 平成28年度 一般会計・特別会計決算

会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	33億3,624万0,147円	32億2,767万5,667円	1億0,856万4,480円
国民健康保険特別会計	11億7,899万1,109円	10億2,852万6,593円	1億5,046万4,516円
介護保険特別会計	7億5,144万9,738円	6億9,626万7,587円	5,518万2,151円
後期高齢者医療特別会計	8,978万1,238円	8,805万3,982円	172万7,256円

## 平成29年度 一般会計補正予算

今回の補正予算は、歳入歳出予算の総額に7,620万7,000円を追加し、総額を33億1,812万6,000円とするものです。歳入では、地方交付税の交付額が決定したことや繰越金の額が確定したことが増額の主な要因です。歳出では、平成28年度繰越分を財政調整基金や公共施設整備基金に積み立てることやマイナンバーカードの記載事項の充実に伴うシステム改修、町道矢那瀬24号線道路改良工事の物件補償費が増額の主な要因です。

### 主な質疑

**Q**早期不妊検査助成金4万円が計上されているが、1人分の補助金か、それとも複数人への補助金か。また、年齢制限について伺いたい。

**A**埼玉県「このとり健診推進事業」の10分の10の補助事業を活用しているものです。今回補正に計上したのは2組分4万円です。対象年齢は、検査開始時の妻の年齢が43歳未満となっています。

**Q**教育扶助費は、今年度と来年度の対象者は何名か。

**A**入学準備金の援助費は、29年度が小中学生合わせて14名、30年度の入学児童は小中合わせて4名です。

## 条例の制定

**町長等の給与の特例に関する条例**…近隣町村の状況を勘案し、町長・副町長及び教育長の給料月額を減額する条例が提案され、町長は70万円から56万円に、副町長は55万円から49万5,000円に、教育長は54万円から45万9,000円となります。

### 主な質疑

**Q**この条例が可決し、減額が実施されると節減総額はいくらになるのか。  
**A**節減総額は3年10ヵ月で1,269万6,000円です。

**Q**公約に掲げておらず、住民の信を得ていない。100%支給で100%の力を注ぐことが良策ではないか。  
**A**他町の給与水準と比較して、同水準にするべきと判断しました。

### 反対討論

**▼村田 徹也**…本来、給与は100%受けて100%の仕事を行うというのが基本ではないか。他町との差を言うなら、給与額の基本額を改定すべきである。

## 請願・陳情・意見書

請願は1件を委員会付託に、陳情は1件を採択し意見書として国等の関係機関に提出しました。

### 国保税の県移管についての請願

長瀨町大字本野上の成川稔氏から「国保税の県移管についての意見書提出を求める請願」が提出され、審議した結果、委員会付託となりました。

### 全国森林環境税の創設に関する陳情

全国森林環境税創設促進議員連盟から「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情が提出され、審議した結果、採択し、意見書として国等の関係機関に提出しました。

## 審議した議案と議員の賛否

		審議結果	井上 悟史	田村 勉	野原 隆男	岩田 務	村田 徹也	野口 健二	関口 雅敬	大島 瑠美子	新井 利朗	染野 光谷
平成28年度決算	一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	×	○	○	×	○	×	○	○	—
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成29年度補正予算	一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の制定	町長等の給与の特例に関する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
条例の改正	情報公開条例等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	介護保険条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人 事	人権擁護委員候補者の推薦(2件)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請 願	国保税の県移管についての意見書提出を求める請願	委員会付託	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳 情	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
意 見 書	全国森林環境税の創設に関する意見書	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 —：議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します



関口 雅敬 (せきぐち まさたか) 議員

## 災害について

**Q**大雨や土砂災害などが多く発生し、九州北部の水害のように警報が深夜に及ぶことが想定されるため、避難指示・避難所開設・連絡体制・備蓄品や機材などの見直しについて伺う。

**A**避難指示は、防災行政無線による放送、ちちぶ安心・安全メール、町ホームページやSNSを利用した伝達や町広報車の使用、また、発令対象地区には行政区長へ電話連絡するなど、多様な手段で情報伝達することになっています。避難所開設は、職員の初動マニ

〔総務課長〕

## 多様な手段で情報伝達を実施していきます

アルに基づき、避難所施設の安全確認後、避難所の開設運営を行います。区長さんの連絡体制は、台風などの事前に危機が察知できる場合は、職員が役場に待機し、夜間や休日の場合は、転送電話を職員が所持して対応します。この番号は災害時緊急連絡先として、毎年区長会議で伝えていきます。事前に察知できない災害では、消防署、警察署へ連絡するよう伝えてあり、各機関から役場担当者へは連絡が来るようになっています。備蓄品は、町で集中管理をしています。

(その他の質問) 貧困問題について



岩田 務 (いわた つとむ) 議員

## 商工業事業所への支援施策等について

**Q**町内事業所の状況を勘案した雇用対策は。

**A**現在、長瀬町内で就職面接会の開催を検討しています。秩父公共職業安定所と連携し、町内の求人希望する事業所と求職者のマッチングの機会創出を図り、雇用機会の拡大につなげていきます。秩父地域地場産業振興センターに委託し、産学官連携コーディネート事業で人材確保についての相談も受け付けています。

**Q**長瀬町商工会工業部会からの要望の検討結果は。

**A**新規及び増設を行う事業所に関しての支援措置と事

〔産業観光課長〕

## 長瀬町内で就職面接会の開催を検討しています

業所が展示会等に出展する際の支援に関するもので、その内容をもとに、事業所の拡充や新規事業所への支援施策を盛り込んだ、企業誘致に関する条例の制定に向けた準備を進めています。

**Q**中小企業、小規模事業者に対する支援施策の効果と今後の施策の方向性は。

**A**経済面での負担軽減を図ることで、事業所拡充を行う要因の一つとなることや雇用の機会の拡大につながると考えています。



野口 健二 (のぐち けんじ) 議員

## 各行政区への除雪機の配置について

**Q**自治総合センターコミュニティ助成金を活用し、除雪機14台を購入する予定だが、26行政区には足りない。各行政区からの希望状況を伺いたい。

また、除雪機を希望する行政区が多くなった場合は次年度以降に追加購入し、希望に沿うような考えはあるか。さらに、維持管理に必要な経費を町が負担する考えがあるのか伺う。

**A**各行政区からの希望状況は、21行政区から要望を受けています。

〔総務課長〕

## コミュニティ協議会へ追加助成で、購入も検討しています

今回は、教育委員会が把握する通学路と建設課が委託する除雪路線や道路事情などを勘案し、14行政区を選考しました。

今後は、要望のあった全区へ配備するため、町コミュニティ協議会へ追加助成し、購入することも検討しています。

また維持管理については、現時点では町で負担する考えはありません。



井上 悟史 (いのうえ さとし) 議員

## 通学定期券購入の補助対象を拡大できないか

〔町長〕

## 現在のところ補助対象の拡大は考えていません

Q高校生を対象に、通学定期券の購入補助を開始した。対象路線を秩父鉄道に限定しているため実情を調査したところ、スクールバスや東上線を利用した場合も交通費が高額となっている。このため、対象路線を拡大して補助金を支給できないか。

また、長瀨駅に駅員を常駐させるよう秩父鉄道に要望する話の進捗状況を伺う。

A秩父鉄道は、長瀨町にとって最重要公共交通機関であること、利用の促進やほかと比べ運賃が高いため高

料金対策として補助を行っています。

また、進学する高校の選択は自由であるため、親の負担は伴うものと理解しています。スクールバスは、無料の学校もあることから特定の学校のみ補助することは思わしくないため、現在のところ、秩父鉄道以外の利用者には補助を考えていません。

長瀨駅に駅員を常駐させる件については、ことあるごとに要望しています。これからも駅員常駐実現に向け、鋭意努力をしていきます。



田村 勉 (たむら つとむ) 議員

## 国民健康保険の運営主体が県に移るに当たっての進捗状況は

〔町民課長〕

## 保険税の試算を行っているところです

Q国民健康保険の運営主体が県に移るに当たり、対策を考えているのか。また、増税の恐れはないか。滞納世帯の多くが低所得者でこれ以上の増税は許されない。今までどおり一般財政からの支援も含めて負担を増やさないという決意はあるか。

A県もこれまで2回の試算で全市町村の税率が上がることを考慮し、激変緩和措置も講じて大幅な値上げにならないようにしています。町としてもなるべく負担がかからないよう努力していきます。

Q北部地区全ての自治体を実施している高齢者祝い金制度の導入を実施する考えはないか。

A個人への給付ではなく、さまざまなサービスを提供するという形で取り組んでおり、健康づくり・介護予防などを重点に推進し、高齢者が安心して暮らし続けることができる町づくりを進めています。

〔その他の質問〕 高齢者祝い金制度の導入について



村田 徹也 (むらた てつや) 議員

## 現状を踏まえた重要施策について

〔町長〕

## 町民の意見を聞きながら町政を進めます

Q若者定住による人口増と子育て支援施策を実行する基礎資料として、住民の意向・意見・要望をくむ住民公聴会を開くべきではないか。

A各種アンケート調査やパブリックコメントの実施、また、町への提案制度や各種委員会等で意見を伺い、これらを参考に町政を推進していきます。

Q全町観光地構想を掲げているが、その進捗状況と、長瀨駅・上長瀨駅近辺の混雑解消のため、優しい観光地として整備が必要ではないか。

A各地域の文化財等の洗い出しを行い、これらを線で結ぶルートを開発しています。踏切改修には経費がかかるため、関係機関と相談しながら検討していきます。

Q健康寿命を延ばす施策が重要ではないか。

A建設中の(仮称)多世代ふれ愛ベース長瀨を健康増進施策の拠点としています。



大島 瑠美子 (おおしま るみこ) 議員

## もみじ公園以外の もみじの名所の整備は

〔産業観光課長〕

## 新たな紅葉の名所づくり を推進していきます

Qこれから11月になると町内の至る所でもみじが色づき、特に、県立自然の博物館前の月の石もみじ公園付近は多くの観光客でにぎわうが、紅葉見物やこの時期に行われている紅葉ライトアップによる経済効果がどのくらいあるか。

また、町には町内全域を観光地化したい考えもある。これらを踏まえ、誘客の期待ができるもみじを町内各所に植栽して、もみじ公園やもみじ山などといった場所を整備し、観光の促進を図っていく考えがあるか。

A紅葉のライトアップに伴う月の石もみじ公園の来場者数は、平成27年度が約6万5,000人だったのに対して、平成28年度は約7万人と5,000人増加しており、経済効果もこれに比例して上がっているものと推測しています。

町では、紅葉の名所づくりを始めており、ロケーションがよく、将来的に紅葉の名所となり得る場所へもみじやかえでなどの植樹を行っています。



〔その他の質問〕 図書館の利用状況/長雨による土砂災害の危険箇所/税込確保



野原 隆男 (のほら たかお) 議員

## 長瀬町消防団第2分団第3部 詰所老朽化対策について

〔総務課長〕

## 「(仮称)長瀬町矢那瀬地区拠点づくり構想」の中で実施していきます

Q消防団第2分団第3部詰所は、建築後約50年以上が経過し、老朽化が非常に進んでいる。この老朽化に伴い、団員の居住環境・設備環境は著しく低下している。また、詰所は沢の上に建設されており、早急な対策が必要である。

新築・移転など、総合的な整備計画について伺う。

A町としても詰所の老朽化、沢の上の建築で危険な状況にあることは認識しています。「(仮称)長瀬町矢那瀬地区拠点づくり構想」に基づき、避難所・消防施設

を整備していきたいと考えています。

Q「(仮称)長瀬町矢那瀬地区拠点づくり構想」の実現には非常にハードルが高いと思うが、うまくマッチングするのか。

A「(仮称)長瀬町矢那瀬地区拠点づくり構想」は、町の重要課題です。矢那瀬地区活性化委員会会長としてパイプ役となり、協力を願いたいと思います。



〔その他の質問〕 秩父鉄道「長瀬NO.1踏切」の安全対策について



新井 利朗 (あらい としろう) 議員

## (仮称)多世代ふれ愛ベース 長瀬の活用方法は

〔町長〕

## 夜間・土曜日・日曜日の 開館も検討しています

Q「(仮称)多世代ふれ愛ベース長瀬」の具体的な活用方法や利用計画について伺う。

A9月上旬に工事着工しています。子育て世代の交流促進、子育て相談、子どもの居場所、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、介護予防、世代間交流などに活用し、いつでも利用できるよう検討しています。

Q緊急車両が通り抜けられる道路整備について伺う。

A道路整備事業は、地域住民の生活の向上を図り、安心安全な暮らしの基盤となります。継続事業を優先し、

(中略)地権者の同意を得られた所から進めます。

Q狭い町道も角切りや途中拡幅等できれば利便性が上がるので、ぜひ調査検討をお願いしたい。

A角切りについては、(地権者のご理解・ご協力)いただけるところから)早めに進めたいと思います。途中拡幅は予算的にも難しいです。



(仮称)多世代ふれ愛ベース長瀬のイメージ図

## 長瀬町議会だより No.3

平成29年9月定例会/11月1日発行

発行: 埼玉県長瀬町議会

編集: 長瀬町議会だより編集委員会

〔議会だより編集委員会〕

委員長: 染野 光谷

副委員長: 岩田 務

田村 勉

編集後記 国の内外が異常気象のごとく不穏な状態です。第3号発行の日には、衆院総選挙の結果が出て、国や地方は落ち着きを取り戻しているのでしょうか。政治・経済の情勢はどうなっていくのでしょうか。落ちつきのある安心安全なまちづくり、地域社会のために議会の役割を果たしてまいります。